

## 高等部 校内実習・現場実習の紹介

高等部では、7月3日（月）から7月7日（金）までの5日間、1年生のI期校内実習が行われました。また、7月3日（月）から7月14日（金）までの10日間は、2年生と3年生がI期現場実習に臨みました。

実習では、地域の企業や福祉サービス事業所等の御理解を得て、資材を貸していただいて校内実習を行ったり、実際に就業体験をさせていただいたりしています。今回はその様子を御紹介いたします。

各学年の実習の目的やねらいは、下記を参照してください。

### 校内実習：1年生



齋彌酒造店さんの箱折り。



学校近隣の施設から空き缶を集め、空き缶つぶし。

#### 目的

- 1 日常の学習の成果（まとめ）→力試し
- 2 現場実習へ向けての準備学習（卒業後の進路を考え始める）
- 3 将来の社会生活の基礎学習（学校生活から地域生活への移行を意識していく）

#### ねらい

- 1 学校や家庭で身に付けてきた力を確かめる。（基本的生活習慣の確認）
- 2 自分の適性や作業能力を知る。（自己理解）
- 3 作業経験を通して、コミュニケーションの基礎を身に付ける。（社会性の伸長）

### 現場実習：2、3年生

株式会社 秋田新電元



NPO法人 逢い 障がい者支援事業所  
(就労継続支援B型)



秋田県心身障害者コロニー（生活介護）

#### 目的

- 1 「働きたい」という動機づけや意欲付けの喚起（これまで培ってきた「～したい」という意欲を「働きたい」という動機付けへ）
- 2 「働く生活」や「社会生活」の経験の積み重ね（現実的な条件下での体験）
- 3 望ましい勤労観や職業観の形成（働く喜びや充実感）
- 4 生徒についての現状や現況の把握（職業、生活、今の力や必要な力を生徒本人や保護者が知る。）
- 5 支援の方向性の検討、確認（卒業後の生活について、本人への支援の方向性について保護者が確認する。）

#### ねらい

- 1 具体的な経験を通して、将来の社会生活に適応するために必要な知識、技能、態度及び円滑な対人関係の基礎を身に付ける。（2、3年）
- 2 現場での作業経験等を通して、学校や家庭で身に付けてきた働く力や物事に向かう力をより確実なものとする。（2年）
- 3 自己の作業能力を知り、適切な進路選択を行うための基礎を築く。（2年）
- 4 卒業後の生活に具体的なイメージをもち、働く意義や責任、社会人としての生活への関心や理解を深める。（3年）

# 秋田県特別支援学校職業教育フェスティバル

7月12日(水)、にぎわい交流館 AU で、秋田県特別支援学校職業教育フェスティバルが開催されました。本校の高等部1年生が代表して障害者技能競技大会、作業学習製品販売、作業学習実践交流会等に参加してきました。職業教育フェスティバルは、一般企業等に特別支援学校の生徒の職業能力や職業教育の取組について理解してもらい、雇用の促進を図ることを目的としています。

## 障害者技能競技大会

選手は放課後等を利用して競技の練習を積み重ね、その成果を存分に発揮してきました。入賞することはできませんでしたが、来年に繋がる大会になりました。



遠藤皓太さん(木工)



佐藤璃英さん  
(ビルクリーニング)



伊藤瑠華さん(喫茶サービス)

## 作業学習実践交流会

自分たちの学校でどんなものを作っているかどんなことに取り組んでいるのかお互いの学校の作業学習の特色を紹介しあいました。



佐藤璃英さん  
(ビルクリーニング)



伊藤瑠華さん  
(喫茶サービス)



## 作業学習製品の展示・販売

自分たちの学校で製作した作業学習製品や学校の取組を紹介するパネルの展示を行い、一般のお客様や他校の方に作業学習製品を販売してきました。初めての販売活動でとても緊張しました。



高等部1年生初めての  
販売活動



ゆり支援学校の作業学習  
製品展示



視覚支援学校のマッサージ  
体験を受ける佐々木響さん

